

第2号議案 平成25年度事業計画（案）同年度予算（案）承認の件

平成25年度事業計画（案）

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

各委員会決定の基本計画事項を確実に実施するために、今年度も会員・賛助会員のご協力をいただきながら着実に進めてまいります。

長引くデフレ不況、東北大震災の復興の遅延、それに伴う電気料金や米価の値上がり、消費税増税等日本社会を取り巻く環境は、悪化の一途を辿ってきました。さらに、少子高齢化、人口の減少、産業の空洞化等将来への不安で国内需要は長期低落傾向にあります。

福島第一原子力発電所事故による食品の放射能汚染以後、より一層「食の安全・安心」が求められている中、消費者の方々に納得していただけるよう正確な情報を迅速に提供してまいります。また、食に係わる幅広い関係者の皆様のご参加・ご協力を得ましてセミナー、研修会、調理実習等に取り組んでまいります。

CO<sub>2</sub>削減問題、食品・容器リサイクル法への対応、米トレーサビリティ法を継続して推進してまいります。特に、本年度は農林水産省の優良外食産業表彰事業の選定要件となっている「食品の原産地表示」について導入企業の増加促進を推し進めてまいります。

2060年には、全人口の40パーセントが高齢者人口になるといわれています。これを踏まえて市場としての高齢者弁当への参入を図ることも重要な課題であると考えます。

本年度も皆様からのご意見、ご指導をいただきながら、更なる協会の活性化を図って参る所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。